



手島知健元 RI 理事を偲ぶ

東京

柏原 孫左衛門

元RI理事手島知健君は、5月10日82歳で逝去されたので、同君を偲び御冥福を祈りたいと思います。

同君は一橋を卒業後、直ちに三井物産に入り、桑港支店長の後、三井合名会社に入り、三井の本館の建築に力を尽し、完成後三井倉庫に入り、更に三機工業の社長に就任し、終戦後退任されたのであります。

同君のロータリー歴は、1932年に神戸ロータリークラブに入会、1935年より東京ロータリーに入会され、1946年に東京水曜倶楽部の副会長になり、いよいよロータリーの本舞台に登場されたのであります。1948～49年度には会長となり、当時全国的にロータリー復帰協議会なるものが出来、初代協議会々長の小松隆君のあと二代目の協議会会長となり、日本のロータリー復帰に努められたのであります。その在任中の1949年の2月に当時RIの事務総長であったジョージ・ミーンズ君がRI理事会の決議により日本のロータリー再建の使命を持って来朝したので、同君と共に最初に再建した、東京、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡、及び札幌の7つのクラブに同道してミーンズ君のよき相談相手となって再建に力を尽されたのであります。

そしてRI復帰後の1949～50年及びその次の1950～51年度との最初のガバナーに就任され、全国のロータリーの発展の第一歩に尽された功績は、当時の人々のよく御承知の通りであります。

其の後「ロータリーの友」の発刊や又ロータリーの文献の邦訳にも多大の力をかたむけられ、更に1952～54年の2年間RIの理事として奉仕されたのであります。

然るに1955年小田原RCのチャーター伝達式の際、祝辞をのべて降壇後、脳溢血を起し会場の観光会館にて約一ヶ月静養し、帰宅後も静養をつづけられたのですが、再び起つことなく、終に逝去されたのであります。当時のガバナーは柳瀬省吾君であり、東京RCの会長は東ヶ崎潔君でありました。

昨秋日本の大会に会長代理として来朝した元会長 Abey 君や理事の Miller 君も同君を見舞いたいとの事で私も同行したのですが大分に衰弱の様子に見えましたが、大変喜んでおられました。何分発病後13年になるので、最近のロータリアンには親しみがうすいと存じ、同君の経歴の一端を記して御冥福を祈りたいと思います。

(バスターガバナー)